

## ◆第1委員会室◆

※本会議場での質問や提言をはじめ、議員の仕事や政治活動への関心について、活発な意見交換が行われました。



### 【議員7名】

座長：藤野良次

議員：田中惟允、宮本次郎、荻田義雄、今井光子、新谷紘一、粒谷友示

### 【高校生10名】

(添上高等学校) 稲本華歩、森末壮一朗、新谷 啓、北谷奈美、上垣海斗  
(関西中央高等学校) 大田佳奈、下田奈実、森下椋介、川畑陽洋、射場真子

### <高校生からの感想・意見>

- 高校生の意見に、真剣に返答してくれる知事や教育長に感動した。
- 県議会に来るまでは緊張と不安があったが、議会運営委員長のお話を聞いてリラックスして本番に臨むことができた。
- 今まで県議会のことは全然知らなかったが、今度からは県議会で話していることをチェックしようと思った。
- 自分の考えた提言や意見が、奈良県行政に取り入れてもらえることはすごいと思った。
- 県議会議員は改まったまじめな感じの人が多いのかと思っていたが、結構ユニークな方が多いと思った。

### <議員からの感想・意見>

- 子どもの基礎体力や規範意識について、奈良県は他県よりも劣っていると思う。高校生議会で提言したことで、知事や部局長の心にとめてもらいこれから頑張ってもらえると思う。
- 基礎体力や規範意識が弱いことの根っこに何があるのかを、高校生が問題意識をもって研究された。議員も改めて学ばせていただいた。
- 提言の中には財政が厳しく、実現するにはかなり時間がかかるものもある。他の手法での提案など、もっと提言を深めていただけたらよいと思う。
- 今は人間性をアピールしていけば選挙に出られる時代になったのではないかと。皆さんの中から1人でも2人でも議員を目指していただきたい。

### <座長まとめ>

- 国の政治も地方の政治も、皆さんのお父さん、お母さん、働いていただいている方の税金で全て成り立っている。直接つながっているのが政治なので、新聞、市や県の広報誌をこまめに読むなど、ぜひ、政治、行政に関心を寄せていただきたい。

## ◆第2委員会室◆

※高校生は政治への興味を、議員はこれまでの議員生活を語りながら、「若者の政治への参加」について、活発な意見交換が行われました。



### 【議員7名】

座長：大国正博

議員：猪奥美里、小林照代、畠真夕美、山村幸穂、國中憲治、川口正志

### 【高校生10名】

(五條高等学校) 中村芽萌、北川玲菜、東綾菜、山田泰寛、本杉剛哉  
(奈良育英高等学校) 柏木遼介、田中佑樹、國澤芹夏、平家諒太、門脇茉菜

### <高校生からの感想・意見>

- 楽しかった。授業で習うのみで、政治を身近に感じる事がなかったが今回の体験で自分たちの意見が少しでも政治に反映されたいと思った。
- 他校からも観光リピーターのことについて質問があり、とても興味深かった。
- ずっと緊張して震えていた。緊張して口がまわらなかった。議員さんはメンタル面がすごいと思った。
- 若者が政治参加に消極的なのは、政治に対する知識があまりないから。学校での学習とあわせて、自ら調べることで知識を蓄えていけば政治に参加していけるのではないかな。

### <議員からの感想・意見>

- 政治は自分の暮らしに関係することなので、暮らしの中でどのようにアピールしていけるのかを考えてもらいたい。
- 皆さんの提言、意見を実現するにはお金がかかる。お金をどのように分配して使うかが政治であり行政。
- 観光の問題などについて鋭く取り上げられていた。皆さんが日ごろ生活されて感じていることが、そのまま政治だということを改めて感じていただけたと思う。
- 質問をするために、机上の勉強や新聞報道ではなく、現場に行っているいろいろな勉強し時間をかけることが、県民の皆さんに実感、納得していただくことに通じる。

### <座長まとめ>

- これからは、若い皆さんが主人公の社会になる。今後、この経験を生かして声をどんどん発していただき、できれば行動をしていただき、地域をよくする、奈良県をよくする、また原点の足元の家庭もしっかりときずなをつくっていただきたい。社会とどうかかわるかということは、政治に対してどうかかわるかということでもある。

### ◆第3委員会室◆

※選挙のあり方や選挙権など、「若者の政治参加」について、活発な意見が交わされました。



【議員7名】

座長：森山賀文

議員：尾崎充典、太田 敦、岡 史朗、松尾勇臣、森川喜之、山本進章

【高校生10名】

(樞原高等学校) 西川尚希、田中美帆、小島京子、中川 恭、福井健太  
(智辯学園奈良カレッジ) 萩野あーす、大江奈々央、上田萌湖、堀内みのり、  
北村瑞穂

#### <高校生からの感想・意見>

- 質問の作成段階の時、奈良県の悪いところばかり見えていたが、いいところもいっぱいあり、もう少し調べてみようと思った。
- 投票率を上げるためには、若い人が行きやすい投票場所であることと、若い人たちに支持されやすいような考えを持っていることが必要と思う。
- 若者が選挙に行かないのは、政治のことを良く知らないこと、興味が持てないこと、選挙自体がどんなものがわからないから。学校の生徒会の選挙で、投票箱を用いることを始めた。本物の選挙がこんなものかとわかった。
- 自分の住んでいる市のことなどをもっと調べて、後輩に政治に興味に向くように指導していきたい。
- 議員に対しては、ニュースで取り上げられているようなマイナスのイメージがあったが、きょうは真剣に受け止めてもらえて、いい議員もいるのだと思った。

#### <議員からの感想・意見>

- 本当に議論を深めようと思えば、キャッチボールをしないと議論は深まらないので、再質問ができればよかったと思う。
- きょうは奈良県のことを考えている人の集まりである。非常に貴重な機会なので、きょうをきっかけにぜひ皆さんの将来の選択肢を広げていただきたい。
- 奈良県に議会があるのを知らない人もいるので、私達議員は危機感を感じながらアピールしていかないといけない。皆さんは若くして県議会に来て発言する経験を積まれたので、将来議員として活躍するのに近い場所にいると思う。

#### <座長まとめ>

- きょう参加いただき、政治に対する興味を少しは持っていただけたと思う。これからの社会は若い皆さんがさらに築いていっていただく社会。政治に興味を持って政治参加について考える機会になればよいと思う。